

令和2年 12月23日

# futbol y vida



Poco a poco ...  
Poco a poco ...

新人戦は **松が谷に0-2** で敗退!!  
この冬は泣くほど走り、**ガッツリ**鍛えます!!

## “2021 Team” 新人戦は松が谷高校に敗退!!

### 春の公式戦に向け、片倉サッカー部 初の“冬の鍛錬期”に挑む!!

12月13日(日)、新人戦三回戦(兼関東大会予選) **松が谷高校戦**は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために無観客試合開催ということで、グラウンドにいるのは松が谷高校の選手と次試合の二チームだけが来校できる、完全アウェイ状態の相手校グラウンドで行われました。

松が谷高校は前ゲームで、私の前任校(T4所属)にPK戦の末金星を挙げて勝ち上がってきました(サッカーの神様のいたずらなのか?前任校との対戦は今回お預けとなりました)。常に一歩先を行く同じ八王子市内の都立高校である**松が谷高校**相手に、新チームの今の力を全てぶつけてどこまで通用するのか楽しみに、この日に向けて二週間しっかりと準備をしてきました。これはあくまでも私の持論ですが、サッカーは相手チームがどのようなスタイルのチームか?ということが問題なのではなく、公式戦という真剣勝負の場に於いても自分たちの目指しているサッカーをしっかりと出せるかということが重要です。つまり、相手によってサッカーが変わる(合わせる)のではなく、自分たちのサッカーを貫き通すことだと思っています。もちろん、相手を知るといことは、どのゲームに於いても闘う上で必要なことです。



<新チームはこれから**経験**を積んでいく>

### 善戦するものの最後は経験値の差が結果に表れた!!

立ち上がり早々に左右両サイドの突破から決定的なチャンスを何度か演出しましたが、ゴール前の詰めが甘く得点には至りませんでした。この日は、中盤でボールを保持する時間は長いもののその分どうしてもミスが多くなり、時折カウンターからピンチを作られました。しかし、二年生主体の松が谷高校相手に「十分やれる」と思っていた矢先に、で相手GKがキャッチして間髪置かずにキックリスタートした攻撃から電光石火のごとく先制点を奪われました。その後もゲーム展開は変わらず、ボールは持てますが重要なバイタルエリアへの侵入がなかなかできません。前半は**0-1**で折り返します。後半も、サイド攻撃から度々チャンスを作りますが、ゴール前の厚みがなくシュート迄いきません。すると、相手の蹴った長く高いFKが直接?ゴールに吸い込まれて**0-2**とリードを広げられます。こちらも、最後まで粘り強く相手ゴールを目指しますが、松が谷の選手は点差が広がり心に余裕が出てきたのか無理なことをせずにシンプルにプレーしたり、時間を上手く使ったりしながらゲームをコントロールします。結局、二点差をひっくり返すためのギアを最後まで上げられずにタイムアップとなり今年度の新人戦は終了しました。

## 結果を真摯に受け止め、課題解決に向けて初の“鍛錬期”にチャレンジする!!

新チーム初の公式戦は、三回戦で敗退したものの大きな収穫を得た大会となりました。その手応えは、我々スタッフだけではなく、子どもたちの書いた大会の振り返りシートからも読み取れます。特に、今回の敗戦に対してもポジティブな意見が多く今後のチームの成長に繋がっていくこと間違いはありません。子どもたちには、チームと個人を客観的に分析しながら、短期的・中期的・長期的課題へ積極的に取り組んで欲しいと思います。



### <タイムアップの笛は次の闘いの始まりである>

さて、新人戦敗退後直ぐに松が谷高校とTRMを行いました。「負けたチームに休みはなし!!」という指導スタンスは片倉高校でも変わりません。その後、一日空けてミーティングを入れてから冬の鍛錬期のトレーニングが本格的にスタートして十日間が経過しました。12月～3月までのプレシーズンのトレーニングメニューは年間で一番厳しく、今までにも増してTR量や負荷を挙げて心身ともに追い込みます。この期間は、サッカーと真剣に向き合うことができ、一心不乱にボールを追いかける時間もたっぷりあります。子どもたちの気持ち(情熱)ひとつで目の前の扉を開けて多くの可能性を広げていけることができるのです。鍛錬期のトレーニングのベースとなるのは、ここまで培ってきた自分の身体が本来持っているものを引き出すためにいつも考え自分の身体と会話をすることが身に付いていることにあります。コーチングスタッフ陣による科学的な根拠に則り効率よくトレーニングを行います。この時期は理屈だけではなくトレーニングの量を増やし、走りは半端なく、ウェイトトレーニングも負荷を上げてきつものにしていきます。

古今東西どのチームも、今より更に高みを目指すために、自分を成長させ敢えてこの厳しい山登りに挑んで行くのです。山の高さや険しさはそれぞれで違いますが、自分自身そしてこのチームがどの山の頂を目指して進んで行くのか?そして、この厳しい山を乗り越えなければ、4月から迎える新シーズンを笑顔では迎えられません。子どもたちのサッカーに対する本気度が試される時なのです。鍛錬期では、練習、練習、練習ひたすら練習を無我夢中に何かに取り憑かれたようにとことん練習する。まさに「サッカーバカ」と言われるくらい練習する。目の前の結果に拘らず、最後まで諦めずに続けられ時に子どもたちもチームも成長するのです。

年末は、予定されていた恒例の東京ユースフェスティバルと今回新規で参加する川崎カップに参戦する予定でしたが、残念ながら新型コロナの影響により中止となりました。その代替えとして「片倉高校 football carnival」を30日まで行います。現在は、20名と厳しい台所事情ですが、春の新シーズンに向けて逞しく成長する絶好のチャンスです。普段から、片倉高校サッカー部は、厳しいトレーニングの量で勝負しています。この鍛錬期は、どこのチームにも負けないくらい、走って、走って、トコトン走って&ガッツリ身体を鍛えて、春までに心身ともにレベルアップし「K's football style」でどんな相手に対しても拘って闘えるチームを確立できるよう頑張ります

### <After the Game>

新人戦は、一歩先行く松が谷高校に0-2で敗れはしましたが、新チームとなって二か月間、積み上げてきたことが随所に見られたいいゲームができました。もちろん、結果も大切ですが、現地点では松が谷高校との実績の差(経験値)だと思っています。追いつき追い越すにはもう少し時間はかかりそうですが、今回対戦してみてその日は思ったよりも遠くはなさそうですので、もう暫くお待ちください。

師走が本気になって走り出しました。チームは、クリスマスソングが街中に流れる中、冬の鍛錬期に突入し、先週から「片倉高校 football carnival」がスタートしました。今年の活動は30日まで続きます。引き続き、宜しくお願いします!!